17 1		וא דוי		立 切豆甲子仪
月	年間指導計画 (学習内容) 単元名 単元の目標	評価の 観点	具体的な評価規準	評価方法
4	文字を使って説明し よう [式の計算] ・身のまわりの問題 を、具体的な数の計算	知識・技能	・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。・具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。・文字を使った式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。	・ワーク
5	をもとに考え、文字を 用いて一般的に表す 必要性を理解する。 ・数の性質が成り立つ ことを、文字を使って 説明することができ る。	思考・ 表明 主体学 主体学習	ことができる。 ・文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。 ・文字を使った式の必要性と意味を考えようとしている。	・定期考査・小テスト・ノート・ワーク・授業観察・応期考査・小テスト
G		に取り 組む態 度	・文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	・ノート・ワーク・授業観察
6	方程式を利用して問題を解決しよう 運立方程式 ・加減法・代入法を理	<i></i>	・2元1次方程式とその解の意味を理解している。 ・連立2元1次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。 ・簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。	・定期考査・小テスト・ノート・ワーク・授業観察
7	解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。 ・具体的な問題を連立方程式を利用して解	思考・ 判断・ 表現	・1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。・連立2元1次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	・定期考査・小テスト・ノート・ワーク・授業観察
	決することができる。	主体的 に学習 に取む 組む 度	している。	・定期考査・小テスト・ノート・ワーク・授業観察
9	関数を利用して問題 を解決しよう [1次関数] ・具体的な事象の中の 2つの数量の間の関 係を調べ、一定の割合 で変化していること	知識・ 技能	 ・1次関数について理解している。 ・事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。 ・2元1次方程式を関数を表す式とみることができる。 ・1次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解している。 ・1次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 	・定期考査・小テスト・ノート・ワーク・授業観察
	を見いだす。 ・1次関数のグラフを理解する。 ・具体的な事象の中の2つ数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決することができる。	思判表 主にに組度 体学取む 的習り態	・1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。・1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとして	・定期考査・小テスト・リーク・授業期考査・ルナーク・アーク・リーク・関業額
10	図形の性質の調べ方 を考えよう [平行と合同] ・多角形の角について	知識・ 技能	・多角形の角についての性質が見いだせることを知っている。・平行線や角の性質を理解している。・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。・証明の必要性と意味及びその方法について理解している。	・定期考査・小テスト・ノート・ワーク・授業観察

				,
11	の性質を見いだし、求			・定期考査
	めることができる。	判断·	てそれらを確かめ、説明することができる。	・小テスト
	根拠となることがら	表現		・ノート
	を明らかにして、簡単			・ワーク
	な図形の性質を証明 することができる。			• 授業観察
		主体的	・証明の必要性と意味及び証明の方法を考えようとしている。	• 定期考査
		に学習	・平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとして	・小テスト
		に取り	いる。	・ノート
		組む態	・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しよう	・ワーク
		度	としている。	• 授業観察
12		知識・	- 0	・定期考査
12	図形の性質を見つけ	7 1 7 .	・定義やことがらの仮定と結論、逆の意味を理解している。	・小テスト
	て証明しよう	12115	・反例の意味を理解している。	・ノート
	「三角形と四角形		・正方形、ひし形、長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解	・ワーク
	・二等辺三角形の性質			-
	を証明することがで		している。	授業観察
			・三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な	・定期考査
	きる。	判断·	性質を論理的に確かめることができる。	・小テスト
1	・三角形の合同条件を	表現	・証明を読んで新たな性質を見いだし、表現することができる。	・ノート
	もとにして、直角三角		・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を	・ワーク
	形や平行四辺形の証		考察し、表現することができる。	• 授業観察
	明ができる。		・ことがらが正しくないことを証明するために、反例をあげることが	
			できる。	
		主体的	・証明の必要性と意味及びその方法を考えようとしている。	• 定期考查
		に学習	・平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生	・小テスト
		に取り	かそうとしている。	・ノート
		組む態	・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しよう	・ワーク
		度	としている。	・授業観察
2		知識・	・多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもと	・定期考査
-	起こりやすさをとら	7 p / C	にして得られる確率の必要性と意味を理解している。	・小テスト
	えて説明しよう	1~10L	・簡単な場合について確率を求めることができる。	・ノート
	「確率」		同子な勿口に ンケ く時中でれるとのこと くじょう	・ワーク
	・起こりうる場合を樹			授業観察
	形図や表を使って、確	田老。	・同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確	・定期考査
	率を求めることがで			・ ルテスト
	きる。	表現	率の求め方を考察し表現することができる。 ・ 確率が用いてて確定が東角が担え、 考察しま現せることができる。	・ノート
	C. 20	衣児	・確率を用いて不確定な事象を捉え、考察し表現することができる。	
				ワーク
		N. 11.41.		授業観察
		主体的		・定期考査
		に学習	- •	・小テスト
		に取り	・不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生	・ノート
		組む態		・ワーク
		度	・確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしてい	・授業観察
			 వం	
		知識・	・四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を理解している。	・定期考査
3	データを比較して判	技能	・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひ	・小テスト
	断しよう		げ図で表すことができる。	・ノート
	[データの比較]			・ワーク
	・箱ひげ図を理解し、			• 授業観察
	データの分布の傾向	思考・	・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み	・定期考査
	を読み取り、考察し判	判断•	取り、批判的に考察し判断することができる。	・小テスト
	断することができる。	表現		・ノート
	, and the second			・ワーク
				・授業観察
		 主体的	・四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を考えようとしている。	・定期考査
		王仲的に学習		・ルテスト
		に子首に取り	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	・ハラスト
		組む態		-
		度	しようとしている。	 授業観察